


～保護者の皆様へ～

 <p>TEAM MINAMI 50</p> <h1>菁莪育才</h1>	<p>第 46 号</p> <p>山梨県立甲府南高等学校 第 3 学年（文責：嶋田） 平成 27 年 1 月 7 日発行</p>
---	--

いよいよ平成27年を迎えました。

今春、TEAM MINAMI 50に「佳き日」が訪れるように励みます。

## ☆ さあ、勝負のとき!! …合言葉は「前後際断」

本日、平成 26 年度第 3 学期始業式を迎え、第 50 期生 275 名にとっては、高校生活最後の時間が始まりました。10 日後には「大学入試センター試験」が行われます。新しい学習指導要領の理数科目先行実施年に入学した我等が第 50 期生は制度変更の狭間の今年、山梨大学と山梨学院大学の 2 会場に分かれて、この試験を受けることになります。残す日が少なくなってくる中で、それぞれの思いもあるでしょうが、常に“今”の積み重ねが大切であることは夏休み前にも「而今」という言葉の紹介とともに述べたところです。

今回は大学入試センター試験を前にして、「前後際断(ぜんごさいだん)」という言葉を生徒一人一人に贈りたいと思います。これは、古くは曹洞宗の開祖道元によって、その後、様々な人物によっても語られたものですが、“過ぎたことを後悔したり、これからのことを不安になったりせず、実相をありのまま受け入れて懸命に尽くす”…つまり“今”に全てをかける”ことを示唆した言葉です。2 日間、長丁場となりますが、大切なのは常に“今”であることを改めて伝えたいと思います。

## ☆ 「センター」－「死ぬ気」＝合格?! …CENTER－C＝ENTER!!

昨年暮れ。終業式の翌日、昼食を摂りながら机上のパソコンで「大学受験 合格 おまじない」などと戯れに検索してみたところ、…。

「手のひらに(あるいは利き手を高く宙に掲げて)“5”を書く＝ごうかく(合格)」、「志望校の正門に五円玉を置くと、その大学と“新たなご縁”で結ばれる」、「テストの前後に 1 回ずつガッツポーズをすると、思ったよりいい成績になる」、「受験前夜…、気になる教科の予想問題集を一度だけ開いて解き方と解答をみた後、枕の下に敷いてトントンして寝る」や「試験前夜にノートが一番最後のページに縦書きで“唹急如律令”と書き、そのノートを試験会場に持く」等々、様々なおまじないが紹介されていました。…唹急如律令は、陰陽道や密教、修験道で用いられる呪文ですが、こんな言葉を高校生が知っていることに少々驚きながら、サイトを読み進めました。

タイトルの一文はその中の一つ…、「センター(の準備)を死ぬ気でやれば合格するよ。CENTERをC抜きでENTER(入る)、つまり合格でしょ。」という意味の文章でした。なかなか頓智が効いていると感じて、ここに紹介することにしました。

「人事を尽くして天命を待つ」という言葉がありますが、やはり第 50 期生のことを思うと藁にも縋る思いは否めません。第 3 学年主任席の背後にある神棚に拝み、校長先生が第 50 期生のために太宰府から求めて下さった「太宰府天満宮学業御守護」札に願掛けをする毎日ですが、この思いが実を結ぶ日をひたすら待つばかりです。

## ☆ 大学入試センター試験についての注意事項!!

10 日後に第 50 期生が挑戦する大学入試センター試験は、前述のとおり制度変更の狭間の年の試験となります。数学・理科については、旧制度下での卒業生と科目が異なりますが、同一の問題冊子・同一のマークカードによる受験になると思われますので、選択科目の選択・マークにも注意を払わなくてはなりません。

実は、年度末の学年集会で三枝正人進路指導主事が我々の学年に対して話をしてくれました。それは制度変更に伴う注意点が必要であっただけではありません。過去の模試を通じて、書き忘れやマークミス、あるいは極めて雑な書き方・塗り方が例年になく、この学年に多いということを懸念した上でのことでした。そのことを踏まえて、以下を、生徒一人一人が肝に銘じてもらいたいと感じます。

試験開始後にはまず「受験番号・氏名・会場コードの記名及びマーク」を忘れないこと、また科目ごとにマークカードの必要箇所は異なりますが、「選択科目や問題のマーク」も忘れないことが肝心です。試験終了前には、最後に必ずそれらの確認をすることも大切です。

受験生のころ、私は「大問ずつ解いて、問題用紙にチェックしたものを解答番号を確認しながら解答用紙の当該解答欄にマークする」という方法をとりました。(解答の仕方には様々なやり方もあるでしょうが、呉々もマークカードに直接解答することだけは避けたいものです。後日の自己採点の際に、自分が解答した番号を記録し忘れるというケースが過去にもありました。)

そして、丁寧に書くこと、丁寧に塗りつぶすこと。鉛筆使用は絶対原則です。

当日は我々第 3 学年職員も、山梨大学・山梨学院大学の 2 会場に分散して生徒の激励を行います。両会場の受験者とも、必ず正門(山梨大学は武田通り沿い左側、山梨学院大学は国道411号線沿い)から入り、本校職員の点呼を受けた後に試験室に入室してもらうことになります。

なお受験生本人はもちろん、保護者の皆様には、以下の点についても呉々も御確認ください。

一応、保護者の送迎に関して、2会場とも車両入構禁止、特に山梨大学では武田通りへの送迎車両通行不可、山梨学院大学では国道411号線沿いの同大学北側第1・2駐車場で乗降可となっていますが、当日は会場周辺でかなりの交通渋滞が予想されます。また天候によっては、会場への所要時間が予想の範囲を超える場合も考えられます。

生徒各自が時間に余裕を以て行動できるように御配慮をお願いします。会場への移動は「公共交通機関の利用」及び「徒歩」が一番安全だと思われます。

第 50 期生がその実力を存分に発揮してくれることを期待しています。

## ☆ 1月の主な予定<再掲> ※1月はインフルエンザ等感染防止月間です。

日	曜	行 事	日	曜	行 事
6	火	冬季休業期間終了(12/26～) プレ演習(~1/7)	19	月	センター試験自己採点 午前授業・三者懇談(~1/30)
7	水	始業式 服装検査 大掃除 納め式	21	水	マナーアップ運動
12	月	● 成人の日	27	火	歌声コンクール①②
16	金	センター試験激励会	28	水	生徒協議会
17	土	大学入試センター試験(~1/18)	30	金	最終授業日③ スキー教室①

次回の学年通信(「菁莪育才」第47号)は、1月30日(金)に発行する予定です。